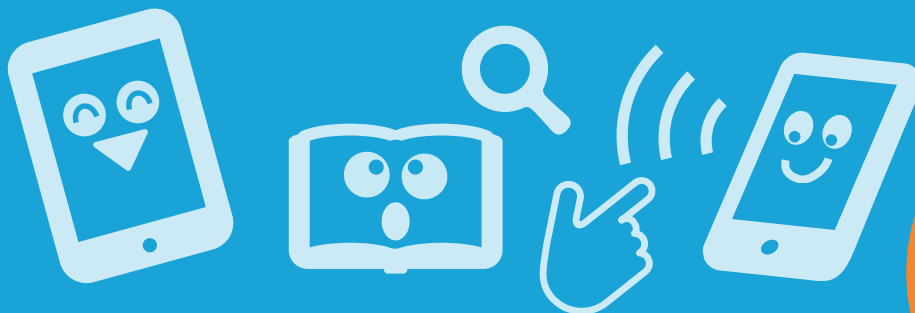


専修大学 神田キャンパスにて開催!

読書バリアフリーに向けた 図書館サービス研修

～ ICT を活用した読書サポート～

ご利用の端末は…
スマートフォン…!



2024年
1月27日(土)
10:00～
16:00
参加無料



成松一郎 (なりまつ・いちろう) さん
有限会社 読書工房

- ・ 読書バリアフリーとは?
- ・ ディスカッション等 ファシリテーター (予定)



松井 進 (まつい・すすむ) さん
千葉県立西部図書館

- ・ 視覚障害者用「読書支援機器」を活用した
読書環境の現状について

講義 実演 体験



平林ルミ (ひらばやし・るみ) さん
学びプラネット合同会社

- ・ 読み書きに困難のある人に役立つサポートツール
～ 読みたい! を読めた! に～

講義 実演 体験

当日は体験用のiPadをご用意します! 研修の詳細は裏面へ ▶▶▶

【お問い合わせ】 公益財団法人 文字・活字文化推進機構

MAIL office@mojikatsuji.or.jp TEL 03-3511-7305 (平日 10時-17時)

令和5年度「読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修」

【日時】2024年1月27日(土) 10:00～16:00 ※途中お昼休憩を挟みます

【会場】専修大学 神田キャンパス 10号館 4階 10042教室

【参加費】無料

【定員】30名(先着順)



会場アクセス情報

1/27 (土)	プログラム	研修概要
10:00～ 10:20	プログラム1 読書バリアフリー 概論	「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律について(仮)」 約20分間 読書バリアフリー法の基本計画の概要について、成松さんにお話し いただきます。
10:30～ 12:00	プログラム2 講義	「ICTを活用した読書支援について(講義)」約90分間 図書館での活用・支援方法のヒントなども踏まえて、役立つアプリや 支援機器などについて、まずは、松井さんと平林さんに約45分ずつ 講義いただきます。視覚障害や学習障害などそれぞれの読みやすさの 特性や、適したツールも紹介いただきます。
13:00～ 15:00	プログラム3 実践	「ICTを活用した読書支援について(実践)」約120分間 iPad 端末などの機器を用意し、参加者が実際にアプリを試したり、実 演を交えた体験型の研修を行います。 2つのグループに分かれて、それぞれ体験します!
15:10～ 16:00	プログラム4 質疑応答・意見交換	「質疑応答・意見交換など」約60分間 成松さんをファシリテーターとして、プログラム2、3の補足や、質疑 応答、意見交換などを行います。

※プログラム内容や時間は変更となる場合がございます。変更が生じた場合は、ウェブサイトやメール等でご案内します。あらかじめご了承ください。

※講師のお話を受講者以外にもお届けするため、研修の内容を収録・編集し、研修の一部を公開させていただく予定です。

【持ち物】筆記用具 ※持参された昼食を召し上がっていただくスペースも、(限られてはいますが) ございます。

ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

成松一郎(なりまつ いちろう)さん

いくつかの出版社で書籍編集の仕事に携わった後、2004年に有限会社読書工房を設立。障害のある人へのサポートや、読書バリアフリーに関する書籍などを発行。また、専修大学で図書館司書課程の講師として、これからの出版社・書店・図書館のつながり方や、さまざまな立場の読者の特性とニーズなどを取り上げている。おもな編著書に『五感の力でバリアをこえる—わかりやすさ・ここちよさの追求』(大日本図書)、『読書バリアフリー—見つけよう!自分にあった読書のカタチ』(国土社)などがある。

松井 進(まつい すずむ)さん

千葉県立西部図書館勤務、公共図書館で働く視覚障害職員の会(なごや会)代表。日本図書館協会障害者サービス委員会委員。公共図書館で障害者サービスの普及促進に取り組んでいる他、盲導犬に関する図書を執筆し、録音版、点訳版、大活字版、電子書籍版などの多媒体出版を行い読書のバリアフリー活動に取り組む。また当事者の立場から買う読書、借りる読書の実現と充実を目指して研究開発や普及活動に取り組んでいる。

平林ルミ(ひらばやし るみ)さん

特別支援教育、特に学習に困難のある人へのテクノロジーを用いた学習保障・環境調整、読み書き評価の開発、読み書きの指導法開発が専門。言語聴覚士・臨床発達心理士である立場から様々な学習に課題のある子ども達のテクノロジー・ICTを使った新しい学び方を提案、活躍中。2020年9月に学びプラネット合同会社を立ちあげ、また、2021年4月より東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター・教育学研究員を経て、2022年4月から特任助教を務めている。